



# る う て る

2012年  
**8**月  
No.776

■発行所■  
日本福音ルーテル教会事務局広報室  
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町1-1  
電話 03-3260-8631

■振替口座■ 00190-7-1734  
■ウェブサイト■ <http://www.jelc.or.jp>  
■E-mail■ [jelc@jelc.or.jp](mailto:jelc@jelc.or.jp)  
■発行人■ 松野昌博 [m-tokuno@jelc.or.jp](mailto:m-tokuno@jelc.or.jp)  
■印刷人■ 精文堂印刷株式会社  
■定価■ 1部 40円 (郵税を含む)

## 説教 「恵みに溢れて」

「生涯、彼を満ち足らせ、私の救いを彼に見せよう」詩編91編16節



あいだに平和を得ており、このキリストのお陰で、今の恵みに信仰によって導き入れられ、神の栄光に与る希望を誇りにしています。(希望は私たちが欺くことがあります。ローマ5・1-5。つまり、歳をとっていく

この度、P2委員会からL.A.O.S講座別冊『人生6合目からの歩み』が出版されました。私たち日本人は、平均寿命の飛躍的な伸びによって、人類が今まで経験したことの無い領域を生きています。これは恵みであると同時に、大きな課題でもあります。歳をとっていくことは、多くのものを失っていくことかも知れませんが、例えば健康、役割、関係、伴侶、そして、何よりも時間。老いていくことは喪失していくことでもあるのです。

よく、老齢期を厳しい冬の季節として表現することがあります。青春から始まって人生を朱夏白秋、玄冬などと表現します。しかし、私たちの人生を季節で表現するだけでは十分ではありません。なぜなら、人生は「旅」だからです。そして人生を旅として受けとめるとき、老齢期は希望の時期でもあるのです。神に支えられ、導かれて生きてきた長い人生の旅路、喜びばかりではなかった人生の航路、しかし、その

旅がいよいよ終わりを迎えるとき、それは神さまの祝福の時でもあるのです。永遠の「命の冠」を神さまから受ける「勝利の時」なのです。老齢期、確かにそれは一番厳しい時であるかもしれませんが、若い頃のように自由に動き回れることもだんだん出来なくなってきました。

しかし、長く航海を続けてきた船だつて、港に近づくとき速度を落とすものです。そう、私たちの人生の港、それは天の御国です。天の御国こそ、私たちの永遠の港なのです。つまり、老齢期は希望そのものなのです。そして、これまで人生の旅路を導き、支え続けてくださった神の恵みを思い、喜びと感謝がわき上がってくる「時」でもあるのです。希望がますます確かなになっていく「時」なのです。

パウロは言います「だがキリストによって神との

パウロは言います「だがキリストによって神との

パウロは言います「だがキリストによって神との

パウロは言います「だがキリストによって神との

パウロは言います「だがキリストによって神との

パウロは言います「だがキリストによって神との



パウロは言います「だがキリストによって神との

パウロは言います「だがキリストによって神との

パウロは言います「だがキリストによって神との

パウロは言います「だがキリストによって神との

### 留学生公募

日本福音ルーテル教会は、左記条件で留学生を募集します。

- 対象者 日本福音ルーテル教会教職者
- 留学の区分 「二号留学」
- 留学要件
  - 1 将来神学教育に携わる用意として、博士課程を修了すること。
  - 2 歴史神学、特にルター神学を研究すること。

応募締切りは9月30日。  
問い合わせおよび申し込みは、[教務事務局](#)へ。

### 岩波新書

## マルティン・ルター

—— ことばに生きた改革者 ——

徳善義和著

キリスト教の世界を変えた宗教改革者の生涯を描く

定価(本体七〇〇円+税)購入特典のお知らせは4面です

パウロは言います「だがキリストによって神との

信徒の声

最近思うこと

北海道特別教区 信徒常議員 須藤 清

昨年、函館教会は念願の記念誌を出版しました。増田憲一郎兄や故泉徹兄が準備されていた資料や、伝道所時代の資料、現存する週報、教会広報紙、写真等を改めて目にする機会を得、教会の足跡をたどることが出来ました。そして、他教区からの人的・資金的支援によって暖かく支えられていたことも知りました。多くの牧師と諸先輩が、時が悪くても教会を支えて来られ、それが、今に繋がっていることを実感しました。今繋がる者として、素直に開拓時代から続く神様の大いなる

計画と恵みを感じています。最近若い人達も増え、私どもは若さにおされ気味の感ですが、素直に神様に感謝しています。今年5月の全国総会で提起された、北海道特別教区の宣教態勢の将来展望は、当該教区の私達に待った無し状況でその方策を迫っています。今年の1月末に、日本の将来の人口動向について報道がありました。2060年の日本の人口は国立研推計で3割減の8674万人としています。ある推計によると、北海道の人口は、2035年

で2005年の人口の約24%減の424万人と推計されています。札幌市5%減の178万人、他市町村は概ね大きく減と予測されています。そして、函館市の人口は2035年で40%減の約17万人と推計されています。今後の伝道を考える時、将来人口の推移や高齢化社会を見据え、函館教会としての展望、教区と連携した宣教体制の再構築が必要になると思

います。後に続く者私達団塊の世代は、先人たちの努力によって建てられた会堂が、あつて



当然の時代でした。今の時代は、各個教会の地域事情や教区内での地理的条件や他教派など、区々な方策の展開となるでしょう。開拓期の信徒の群れの中に、今の私達が忘れていた大事なものが、私達たちの大胆な発想の転換と、私たちの信を問われている時代と思

います。そして、動きやすくしなければと願うこの頃で、個々の信徒に笑顔が溢れる群れにこそ、大きな未来があると確信します。

「となりびと」にも地元ボランティア団体からの支援力の申し出をいただければと願うこの頃で、来がある」と確信します。

「食材王国宮城より」 私は今年4月より「となりびと」スタッフとして活動をしております。宮城県塩釜市に住んでおり、郷土愛と、支援に「恩返し」をする気持ちで参加いたしました。宮城県は、豊富な食材を産出している「食材王国宮城」と呼ばれています。沿岸部では、カツオ、サンマ、マグロ、ワカメ、カキ、ふかひれ、ホヤなどの特産品があります。仮設住宅の皆様は、このような故郷を誇りに思いながら力強く暮らして、励まされるのが沢山あります。集会所では「お茶つこ会」という、ボランティアや外国の方も参加される交流活動をしていきます。交流では「絆」を大切にしています。お年寄りから子どもまで、力をあわせて震災を生きのび、多くの方々の支援によって生きる力をいただいていることに感謝します。仮設住宅の皆様が、やがて石巻市の木である黒松のように、大地にしっかりと根をおろし、太陽に向かって伸びていくことを願っています。

牧師の声

L C Mに参加して

挙母教会 鈴木英夫



5月末、「ルーテル海外教会協力会議(LCM)」に参加した。多国的・多文化的視点から「日本の宣教」を考える機会が与えられ感謝している。貴重な発題や意見が出されたが、その中で次のことが特に、印象として残った。！教会教勢の低下傾向はフィンランドや米国でも同様であり、その原因が世界的・共通的な事柄に起因しているようだ。

「我々伝来の欧来的キリスト教が有する「伝統」と日本の宗教土壌における「実情」をどう融合させるべくかが、宣教(土着化)の重要課題である。#複雑多様化した現代を生きる教会員の「信仰生活」、「教会生活」、「社会生活」の内実をさらに捉え直し、十分な理解を必要とする。教職と各教会への提言として重要だ。

例えば、今回、国内のルーテル教会諸派は救済活動の組織時に、「ルーテル教会」の名を前面に掲げないことを申し合せた。現場で尋ねられたら、「ルーテル教会」と答え

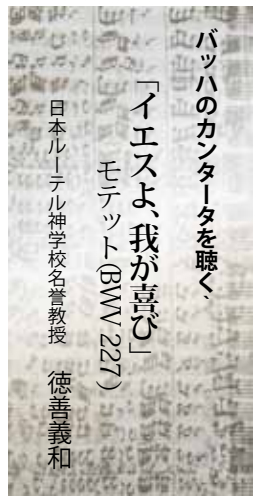
ることにしたという。これに対して、フィンランドから驚きの声が上がった。「なぜ、キリスト教会の働きを実践するのに教会の名を掲げないのか」と。さらに、被災した他宗

Logos for JELC (Japan Evangelical Lutheran Church), ELCA (Evangelical Lutheran Church in America), and SLEY (Swedish Lutheran Church in Finland).

「食材王国宮城より」 私は今年4月より「となりびと」スタッフとして活動をしております。宮城県塩釜市に住んでおり、郷土愛と、支援に「恩返し」をする気持ちで参加いたしました。宮城県は、豊富な食材を産出している「食材王国宮城」と呼ばれています。沿岸部では、カツオ、サンマ、マグロ、ワカメ、カキ、ふかひれ、ホヤなどの特産品があります。仮設住宅の皆様は、このような故郷を誇りに思いながら力強く暮らして、励まされるのが沢山あります。集会所では「お茶つこ会」という、ボランティアや外国の方も参加される交流活動をしていきます。交流では「絆」を大切にしています。お年寄りから子どもまで、力をあわせて震災を生きのび、多くの方々の支援によって生きる力をいただいていることに感謝します。仮設住宅の皆様が、やがて石巻市の木である黒松のように、大地にしっかりと根をおろし、太陽に向かって伸びていくことを願っています。

「食材王国宮城より」 私は今年4月より「となりびと」スタッフとして活動をしております。宮城県塩釜市に住んでおり、郷土愛と、支援に「恩返し」をする気持ちで参加いたしました。宮城県は、豊富な食材を産出している「食材王国宮城」と呼ばれています。沿岸部では、カツオ、サンマ、マグロ、ワカメ、カキ、ふかひれ、ホヤなどの特産品があります。仮設住宅の皆様は、このような故郷を誇りに思いながら力強く暮らして、励まされるのが沢山あります。集会所では「お茶つこ会」という、ボランティアや外国の方も参加される交流活動をしていきます。交流では「絆」を大切にしています。お年寄りから子どもまで、力をあわせて震災を生きのび、多くの方々の支援によって生きる力をいただいていることに感謝します。仮設住宅の皆様が、やがて石巻市の木である黒松のように、大地にしっかりと根をおろし、太陽に向かって伸びていくことを願っています。

Green box with text: JLER (ルーテル教会救済) 対策本部 現地からのレポート JLER派遣牧師 野口勝彦



「イエスよ、我が喜び」  
モテット (BWV 227)  
日本ルーテル神学校名誉教授 徳善義和

バッハは聖書をよく読  
み、ルターを読んだと思  
われる。バッハの死後に  
作成された財産目録には  
蔵書目録もあり、神学書  
は五二点(八〇冊)を遺し  
たことが分かる。その内  
ただ一点(三冊)だけがセ  
ントルイスのコンコー  
ディア神学校に現存して  
いる。ルター訳の旧新約  
聖書にカロフが注釈を施  
したもので、バッハは欄  
外書き込みをしたり、下  
線を引いたり、熱心に  
これを読んだことがうか  
がわれる。書き込みは筆  
跡鑑定によって、下線は  
インクの炭素同位元素に  
よる年代推定をもって  
バッハ自身によるものと  
ほぼ確認されている。礼  
拝やその音楽への関心も  
強く、「神の栄光のために  
歌われたのだ」という書  
き込みも残っている。  
カットはその扉の写真だ  
が、右に「S. Bach 1733」  
とバッハ自筆の署名があ  
る。これが一九三四年に  
アメリカ・ウィスコンシ  
ンのドイツ系移民の農家  
の納屋から見つかったと

に、バッハの教会音楽が  
先ずはそこに配された聖  
句とコーラル歌詞の釈義  
とも言うべき味わいから  
始まって、曲の味わいへ  
と導かれていく典型的な  
作品のひとつであること  
を示してはいないだろう  
か。もちろん音楽も優れ  
ていて、私自身生涯に一  
度は一緒に歌ってみたい  
と思っていた曲だが、こ  
れは果たせないようだ。  
しかしその音楽的表現も  
またことばをしっかりと  
解釈して、説教黙想  
の典型のような趣すら  
もっているのである。  
教会讃美歌の訳は若い  
日の私のものだが、後に  
バッハのこのモテットと  
出会って、一層思い入れ  
を深めている。私の葬儀  
の際にはこの讃美歌を愛  
唱讃美歌として、このモ  
テットを献花の際の音楽  
としていただくよう、既  
に市ヶ谷教会の月報にも  
載せて、お願いしている  
ところである。



カロフ聖書の中表紙とバッハの署名アップ

このモ  
テットな  
どはま  
り

福音と美術

小鹿教会 寺澤節雄  
静岡大学名誉教授 (美術教育)

図1は、セザンヌの最  
高傑作「りんごのオレン  
ジ」(一九〇五)です。今日  
セザンヌの絵画は多視点  
絵画と呼ばれます。それ  
はセザンヌが、従来の遠  
近法的表現の一点点を  
破っているからです。そ  
の結果、画面空間は不連  
続・不均質に扱われ、そ  
の動的な表現はキュビス  
ム絵画に引き継がれまし  
た。一般的に人々は印象派  
のモネのように、見えるも  
のを見るままに美しく  
描かれた絵画を好みます。  
その場合、対象はカメラが  
レンズの先に一焦点を結



図1 セザンヌ 林檎とオレンジ (部分)

ぶように焦点的に捉えら  
れています。このような焦  
点の拘束を離れるという  
ことは何を意味するので  
しょうか。二十世紀初頭  
芸術家は一焦点的にのみ  
捉えられる空間の拘束を  
振りほどこうとし、セザン  
ヌはその筆頭となったと  
も言えます。それは科  
学の発展と相まって、人々  
が余剰次元に目を開くよ  
うになったからだと言え  
ます。問題は余剰次元に解  
き放たれた先意識はそ  
の根拠をどこに求めるの  
かということ。不連  
続・不均質となった空間  
は、その統合の根拠を無  
限・連続、さらには永遠性  
の象徴に求めるとのいう  
のが私の考えです。

図2は静岡県立美術館  
所蔵のパウル・クレーの  
絵画で、「エンタランスR  
」と題されている作品で  
す。この絵の面白さは、遠  
近法的な構成と逆遠近法  
的な構成とが  
共存している  
ことです。そ  
のため、われ  
われの視覚は  
焦点を失い、  
目眩ましの  
何か未知の  
ものを見るよ  
うに見えるの  
です。それは



図2 パウル・クレー (1920)

われわれに見慣れた三次  
元的知覚以外の余剰次元  
です。そのようにしてわ  
れわれは、日常的知覚を  
相対化することを強いら  
れます。それは先に述べ  
たキエルケゴールの言う  
「精神」への誘い。それ  
は私たちが、古き拘束  
を破る新しき創造の世界  
に生きるためです。

図3 不連続的な色面構成

図3は、私の授業にお  
ける造形演習の成果で  
す。造形課題は、「ク  
レー・コンポジション  
」です。すなわち、  
クレーの造形空間を  
抽象的な構成として  
表現させました。こ  
の課題では、まず学  
生に画面の自由な分  
割を求め、さらにそ  
れを自由な色面を用  
いて統合するよう  
に  
求めます。そこでの体験  
は、決まった規則の無い  
対象に対する手探りで  
す。迷宮の内にも、隠れた  
規則は潜んでいます。不  
連続的な律動的運動がそ  
れを可能にするのです。  
このようにして造形活動  
の基本から学ぶべきもの  
は、内なる潜在的秩序の  
確かさを知ることであ  
り、それは創造の喜びに  
触れる体験となるので  
す。(続く)



TNG 担当  
佐藤和宏

販売物グッズについて

■お誕生カード

幼児部門では、0歳から  
6歳までの7種類のカー  
ドを用意しています(一部  
150円)。特徴は、誕生日  
を迎えた子どもへの言葉

■こひつじハンコ、シール

幼児部門では、こひつじ  
の型にご希望の名前を入  
れたハンコを制作販売し  
ています。また、こひつじ  
シールも好評販売中です。  
手紙の封じ、カードの飾り  
に、その他いろいろな場面

■CSテキスト、カード

子ども部門では、教会参  
校(CS)で使用する説教  
例や分級展開例などが掲  
載されている「CSテキス

■メールマガジン

グッズではありません  
ト」を販売しています。(1  
部年間500円)ルーテル  
の日課に合わせた教材は  
少なく、責任の重さを感じ  
つつ、全国の教職・信徒が  
ボランティアで担当して  
います。カードも日課に  
合っており、CSだけでは  
なく、礼拝を休まれた方へ  
のお見舞いにも最適です。  
その日の日課にあった  
カードにひと言添えての  
プレゼントはいかがです  
か。

が、ティーンズ部門では  
毎週水曜日にメールマガ  
ジンを登録者に配信して  
います。2500字のメッ  
セージと聖句は、「あなた  
に向けて書かれています。  
教会や学校でも登録して  
メールマガジンのメッ  
セージをきっかけにして  
話し合うこともできます  
ね。TNGは、各地で次世  
代への働きかけにご苦労  
されている「あなた」と共  
に歩みます。ぜひ、皆さん  
のご意見、ご要望をお寄せ  
ください。宣教まで。

### 2012年度 日本福音ルーテル教会教師試験実施のお知らせ

2012年度の日本福音ルーテル教会の教師試験を左記要領にて実施いたします。教師試験を受けようとする志願者は左記書類を整え、教会事務局にご提出ください。よろしくお願いたします。

- 提出書類
  - 1 教師志願書
  - 2 志願理由書
  - 3 テーマ「なぜ『日本福音ルーテル教会の教師』を志願するのか」

#### 記

教師」を志願するの  
か。あなたが考える宣  
教課題をふまえて一  
書式 A4横書き  
フォントサイズ11ポ  
イント  
(注意事項) 簡潔な  
文章で記すこと。召  
命感を明確に記すこ  
と  
3 履歴書(学歴、職歴、  
信仰歴、家庭状況等  
を記入すること)  
4 教籍謄本(所属教会  
教籍簿の写し)  
5 成年被後見人または  
被保佐人として登記  
されていないことの  
証明書(法務局交付  
のもの。任用試験時  
に必要になります)  
6 所属教会牧師の推薦  
書  
7 神学校卒業(見込)  
証明書及び推薦書  
8 健康診断書(事務局  
に所定の用紙があり  
ます)  
「提出期限(期限厳守)  
2012年9月14日  
(金)午後5時までに  
教会事務局へ提出す  
ること  
」提出先  
日本福音ルーテル教会  
常務委員会 立山忠浩  
宛  
、試験日及び試験内容  
直接本人に連絡します。

### 2013年 教会音楽祭のテーマ曲 歌詞を募集

2013年6月8日  
(土)に教派を超えての  
賛美集会「教会音楽祭」  
が、ウエスレアン・ホー  
リネス教団淀橋教会で  
開催されます。  
第31回のテーマは「ど  
もに希望の歌を」東日本  
大震災後、私たちは何を  
歌うのでしょうか? 賛  
美のことばを紡いでい  
きたいと願っています。  
現在、このテーマに即  
した歌詞を募集していま  
す。(曲については採用  
された歌詞を発表してか

ら募集を開始します。)  
■応募条件 1人1作品  
とし、未発表のものに限  
ります。教会音楽祭実行  
委員会にて審査し、採用  
者には直接通知します。  
応募作品が採用候補  
作品とされた場合でも、  
作者と相談の上、実行委  
員会で添削する場合があります。  
採用作品は広く  
教派を超えて自由に用  
いられるものであること  
を理解のうえで応募く  
ださい。なお応募作品  
は返却しません。  
■提出先 東京都港  
区芝公園3-6-18  
日本聖公会 東京教区事  
務所内礼拝音楽委員会  
(教会音楽祭歌詞応募)  
と明記してください。)

9月30日(消印有効)  
■発表 採用作品の作者  
に直接通知します。一般  
には「曲募集」をもつ  
て発表に替えさせていただきます。  
●問い合わせ先 各教  
派の教会音楽祭担当委  
員、または「教会音楽  
祭」ホームページ  
<http://mlm31.reserve.jp/>

### LAOS講座別冊を増刷

P2委員会より、高齢者  
伝道のために、去る5月5  
日に発行した、「人生6合  
目からの歩み」は、ルーテ  
ル教会だけでなく、他教派  
からの反響もよく、残りが  
少なくなりましたので、増  
刷することになりました。  
このテキストを教会で  
の高齢者伝道の学びのた  
めに購入(希望の場合は、  
本教会事務局にご注文、一  
冊・300円)を。



### 徳善先生の新聞書 購入に特典!

本号1面でお知らせ  
のとおり徳善義和先生  
の著書「マルティン・  
ルター」が、6月20日  
岩波書店より発行され  
ました。  
つきましては、徳善  
先生から、教会での学  
習用にとりためて購入す  
る場合の特典情報につ  
いてご連絡をいただき  
ましたので、お知らせ  
いたします。



### 第25回総会期 第1回常務委員会 報告

第25回総会期の第一  
回常務委員会が、六月十一  
日から十三日にかけて、  
市ヶ谷センターにて開  
催されました。今回は、  
五月の全国総会にて選  
出された第25回総会期  
常議員による初めての  
常議員会でもありまし  
た。

新たに総会議長に選  
出された立山忠浩議長  
は「先の全国総会を受け  
て、第六次総合方策をど  
う実現するかについて、  
総合的・総花的な方策  
の中から、重点的課題の  
抽出をし、取り組みを具  
現化していくこと、議  
場から出された諸意見  
の中から取り入れるべ  
き声を拾い上げていく」と  
基本的な姿勢を述べら  
れました。

さらに、現時点で優先  
的・緊急的課題と思わ  
れる事柄として、三つに  
絞り込んで言及されま  
した。  
(1) 財政問題の根源に

関する認識の共有化と  
確実な対応、  
(2) 東日本大震災ルー  
テル救援活動を、日本福  
音ルーテル教会の宣教  
理解の中で、「この世に  
奉仕する教会(ディアコ  
ニア)の働きとして、ど  
こまで位置付けるのか、  
有限な人材や財政力を  
考慮に入れつつ、検討し  
てゆく。

(3) 宗教改革500年  
となる2017年にむ  
かって、記念事業、特に  
各個教会が参画できる  
ような企画を含む準備  
計画を進める、

▼諸活動、委員会報告、  
審議事項  
2012年2月以降  
の三役、各教区、本教会  
各室及び諸委員会、関係  
諸団体、JLER(救援

▼諸委員任命と委員会  
の組織  
総会選出の常置委員に  
加えて、常議員会選出の  
常設委員及びその他諸  
委員選任をし、実質的な

支援本部)等の活動につ  
いて各々報告がなされ、  
に全常議員に積極的な  
協議を求めました。  
なお第一日目の夜に  
は、渡邊前総会議長と立  
野前事務局長の感謝会  
を開催し、常議員相互の  
親睦も行われました。

三日目は、立山議長の  
表明された「第25回総会期  
の基本方針と重点課題」  
に絞って、しばし今期常  
議員全体で意見交換を  
し、現状認識と課題認識  
の共有に務めました。こ  
の協議は継続して十月  
に予定される「宣教会  
議」十一月開催の「常議  
員会」でも積み重ねてい  
くものとなりました。

### 第25期 新四役



書記 (事務局長) 白川道生 議長 立山忠浩 副議長 青田 勇 会計 森下博司

ご希望の方は著者メール  
yokuzen@luther.ac.jp  
まで、ご連絡下さい。

電話: 0564-64-3261  
FAX: 0564-64-3262  
64-3262